

市交際の支出状況



令和7年6月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔慰	今月分	0	0
	累計	2	10,000
見舞い	今月分	0	0
	累計	0	0
御祝	今月分	3	14,000
	累計	13	51,700
賛助	今月分	0	0
	累計	2	13,284
激励金	今月分	0	0
	累計	0	0
接遇	今月分	2	80,190
	累計	4	85,430
会費	今月分	2	11,000
	累計	7	40,000
その他	今月分	0	0
	累計	2	7,645
合計	今月分	7	105,190
	累計	30	208,059

※くわしくは市ホームページに掲載しています

問い合わせ

総務課 秘書係

☎0952-75-2115

「あの人は〇〇だから」「あの地域は〇〇だから」といった思

「私たちの意識が社会を変える」
 私たちは日々、さまざまな人と出会い、関わり合いながら生きています。名前も顔も、育った場所や環境も、考え方も、それぞれ違う人との関係の中で、お互いを認め合い、支え合つてともに暮らしているのです。しかし、そのような中で「出身地を知っただけで距離を取られる」「出自を理由に、就職や結婚が難しくなったりする」など、出自を理由とする不当な扱いや、偏見による差別が未だ存在しています。こうした差別は、自然にあるものではありません。差別する人がいるから、差別は存在します。

tomon i kiru

い込みや決めつけ、心ない言葉や態度が、誰かを深く傷つけてはいないでしょうか。「知らなかった」「そんなつもりはなかった」では済まされたいこともあります。悪気がなかったとしても、無意識の中にある偏見や言動が、差別を支えてしまうことがあるのです。誰もが自分らしく生きられる社会をつくるために、大切なのは、歴史や背景を学び、差別の存在に気づくこと、不当な扱いを見たときに「それはおかしい」と声をあげること、そして想像することです。

目の前の誰かが、どんな気持ちでいるのか、どんな思いを抱えて日々を過ごしているのかを想像すること。それは、人と人をつなげる一歩になります。差別のない社会は、私たち一人ひとりの心から始まります。

社会教育指導員

野中久美子

Message for citizen

市長コラム



市長「」コラム



7月23日記

市長 横尾俊彦

まさに国難の中での政治の舵取りです。今後どうなるか、地方への影響も気になります。

選挙での各党の政策には、消費税の廃止や食料品はゼロなどがあり、医療や福祉に充たされてきた財源が不足しないかも懸念されます。消費税ゼロ、教育費負担ゼロ、国民一人へ給付金〇万円などの財源はどうするか、福祉医療ほか他の行政サービスにマイナス影響はないかなど、今後の注視が大切です。

真の改革は、志高い政治家と良識ある有権者の協働作業で叶うものです。国家経営視点での考察の熟度も重要になります。

これからの変化がどうなるかはまだ不透明です。でも、いかなるうとも市民の皆さんの暮らし・健康・医療・福祉・子育て・教育・産業など、しっかりと支えることに努め、ともに良い未来を拓くため、心ひとつに全力を尽くして参ります。

少数与党の国会状況